

「マレーシア」に行ってきたました

A・Bコース 修学旅行

2月20日〜25日まで(5泊3日)の行程で、A・Bコースの234名は、マレーシアへの修学旅行を実施しました。



2月20日〜25日まで(5泊3日)の行程で、A・Bコースの234名は、マレーシアへの修学旅行を実施しました。

この旅行で得たものは、一生を通してとても大切なものとなりました。

4組 石川 慶人

この修学旅行では、たくさんの外国人とコミュニケーションがとれたので良かったと思います。私自身、完璧な英語を話すことはできませんが、身振り、手振りなどのボディランゲージを加えながら会話することで、どんな相手でも意味が通じるということが分かりました。

私にとって、この修学旅行ははじめての海外旅行でした。海外、とくにマレーシアに不安を持っていましたが、行ってみれば「こんなにいいものだ」と考えが変わりました。とにかく、マレーシアの人たちは親切な良い人ばかりで、とても絡みやすく、すぐ仲良くな

4組 山下 創貴

初めての海外旅行で感じたことは、周りの人が様々な言語で言葉を交わしていることに驚きました。建物の表記も英語?ばかりで日本とは異なる雰囲気を感じました。食事でもマレーシア特有の味で不思議な感じがしました。食事の仕方や公衆トイレが有料で紙が無かったり、日本では当たり前なのがマレーシアでは異なる文化として定着していることを身を持って知りました。また、外国語が話せれば、もっと海外へ行くことが楽しくなるんじゃないかなと思います。今は、しっかり英語の勉強をしようと思っています。そして、今後外国の方と話す機会があれば、積極的にコミュニケーションをとりたいと思います。

8組 永濱 晃汰
この修学旅行を終えて、もつと英語を聞き取れて、自分の意思を英語で伝えることができるようになりました。と、つくづく思いました。また、今回の修学旅行では、「国は違っても、同じ人間」ということに気付かされました。それを一番感じる事ができたのがカンポン村のホームビジットでした。訪問先の家庭は自分の息子のように優しく接してくれ、人間としてのレベルの高さを感じました。

8組 中嶋 憲吾

3泊五日のマレーシア(修学旅行)はとても充実し、とてもいい思い出が作れました。また、クラスメイトとの仲も、より深めることができました。行く前は不安が大きく、行くのが嫌な時もありましたが、行ってみるとそれは想像と違うものでした。それは「安心」という点です。以前からニュースで流れていた問題が気になっておりましたが、怖いイメージもありましたが、現地での心配は一切ありませんでした。マレーシアの人たちはとても親切でした。また多民族国という点で、様々な人種



が暮らしていました。それを直接感じる事ができてよい体験になりました。

8組 小久保 葉奈
私は今回、初めて飛行機に乗りました。怖かったけど、空からのきれいな景色や、初めてあんなに近くに雲を見て感動しました。マレーシアに着いても、きれいなホテルに宿泊し、美味しい(私には合わないものもあつたけど)料理を食べたり、RM(リンギット)を使って安くていい買い物もしました。一緒に行動した大学生とも仲良くなり、色々なお話ができて良かったです。



が暮らしていました。それを直接感じる事ができてよい体験になりました。

また行きたいです。(笑)

今月のしやっぴよう!

東日本大震災から4年が過ぎました。みなさんは覚えていますか。私自身、震災の事実が徐々に風化しつつあるのではないかと危惧感を抱いています。また最近のニュースでは、国内国外関係なく人を傷つける事柄が多くなつたような気がします。私たちの身近な生活はどうでしょうか。当時はインフラが遮断し、電気はもろろん、水も食料もなく不安の中に不自由な生活を過ごしました。誰もが改めて自分たちの生活を見直そうという気持ちを持ったはずで

す。同時に、他人との絆を大切に、互いに寄り添うということが大切だという気持ちになつたはずで

主任の独り言

保護者の皆様へ

Study to be quiet.
次年度(4月)からコース制となり、学年主任としては最後の学年通信発行となります。そこで、ある意味、餞(はなむけ)としてこの言葉を「白梅諸君」に送ろうと思います。

次年度も引き続き、本校教職員は、お預かりするお子様の指導に常に全力でありたいです。しかし、目の届く範囲にも限界がございます。ご家庭内での生活状況、活動状況の把握につきましては、保護者の皆様のご協力が必要となります。

私の趣味は「自転車」が有名だが、実は「釣り」にも精通している。一時は釣り具店に勤めていたほどの「太公望(二釣りバカ)」である。釣りといつても様々な。海、川、湖と水のあるところ、魚がいれば釣りは成立する。私は「川釣り」だ。それも「フライ(毛バリ)」と呼ばれる疑似餌を使った「フライ・フィッシング」と鮎の「友釣り」。

病気などの諸事情でやむなく欠席、遅刻、早退する場合は、必ず保護者から学校(担任)に連絡を入れてください。

- 「昼食・弁当」
パンや弁当の販売はありませんが、当面は弁当を持たせてください。パン、ジュース類の自動販売機は校内に設置されています。
 - 「登下校時間」
登校時間は始業5分前となっております。ST・Sコースは8時05分。A・Bコースは8時25分までに入室完了するよう、時間に余裕を持って送り出してください。
 - 「下校時間」
下校時間は、コースや部活動などでそれぞれ異なりますが、あまりに遅い帰宅時間の際は、注意してください。
 - 「進路に関して」
お子様の進路に関する相談や話し合いを、ご家庭内でも意識して設けて下さい。特に、経済面に関しては、盤石の構えで臨めるよう、事前調査や準備にあたることをお勧めします。
 - 「その他、友人関係等」
友人関係や学校での出来事など、お子様と会話する機会を多く持つて、些細な言動や動向から状況把握に努めてください。
 - 「アルバイトは原則禁止となります。授業料減免制度や各種奨学金制度のご利用をお勧めします。」
 - 「その他、何でも結構です。ご不明、ご心配なことがありましたら、学校までお問い合わせください。」
- 全ては、お子様の「夢実現」のために：
(学年主任)